

議長就任のあいさつ

松本 軍二



市民のみなさまには平素から、市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年4月執行の神埼市議会議員選挙におきまして、新人5人を含む24名の議員が誕生し、議会の雰囲気も変わり、4月27日の臨時議会において新体制が整い、このたび私は議長として選任していただき身に余る光栄に感謝致しますとともに、この責務の重大さを痛感し身の引き締まる思いを致しております。

本市の財政状況は一段と厳しさを増すなか、環境・福祉・教育など各分野で課題が山積しております。

政府が掲げる「地域主権」により、地方へ権限や財源が移行されるならば、行政の執行状況を監視する議会の役割は、今まで以上に重要となりますが市民のみなさまの共通利益を最優先に、職責を全うする所存でございます。

議会運営に当たっては、開かれた議会を目指すために、全議員の意見を尊重し、議会においては執行部と議論を重ね、公平かつ円滑に進めるべく誠心誠意をもって努力いたしたいと存じますとともに、行政と議会のパワーバランスを保つためにも「追認機関」でも「抵抗勢力」でもなく市民のみなさまの視点に立って行政と対等に渡り合える議会へと力量を身に付け、職務に全力を傾注する決意でございます。

市民のみなさまにおかれましては、引き続き議会に対しまして、ご支援、ご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます、就任のご挨拶いたします。

副議長就任のあいさつ

永沼 彰



合併して4年、「神崎市」をどのような郷土にするか、自然と話題にするようになりました。4月から新陣容で臨んだ神埼市議会も、はや3ヶ月、活発な議論を展開しています。

神埼市民のみなさまの審判と我々への負託は、議会への大きな期待であり、郷土発展に汗を流す責務の重さが込められています。福祉サービスの充実、安心して暮らせるインフラの整備、農業や商工業など地域産業の振興と、緊縮する財政の中で市の課題は山積みです。今こそ知恵を絞り、行政と一体となった活動で、郷土の希望のある道筋をつくっていききたいと思っています。また推進役となる大きな責務を全うしたいと存じます。

今日、議会の活動が市民から見えにくくなり、市民の意識も薄れつつある現状を真摯に受け止める必要があります。議会と市民の距離を縮めるべく、透明性と情報発信力を高め、市民のみなさまの声が反映され一体化した議会活動に努めたいと思います。議会の意志決定を常に明らかに示してこそ、地方自治における議会の存在意義であると確信します。副議長を拝命した私と致しましては、多くの市民の方々の意見を聞き、前向きかつ円滑な議会運営を行うことに最大限の努力をして参ります。市政発展のため執行部との連携を深め、両輪となって議会も動く活力を持ち続けます。

神埼市議会はベテラン、中堅、新進気鋭の議員が揃った構成となっております。各々の経験と新鮮な意欲を生かし、市民生活の安定向上に寄与する議会活動に邁進して参ります。今後とも、市民のみなさまのご指導ご鞭撻をいただき、議会活動へのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。